

F105		心理療法論	
英名科目名	Psychotherapy		
大学名	京都教育大学		
連絡先	教務課教務グループ TEL:075-644-8157		
担当教員	内田 利広 (教育学科)		
開講期間	2021年10月08日(金)~2022年02月04日(金) 2講時 10時30分~12時30分 授業休止日 2021/11/12(金),2022/01/14(金) 振替授業日 2021/12/23(木),2022/01/13(木) 冬季休業 2021/12/24(金)~2022/01/05(水) 定期試験週を含む		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	金曜日 2講時
単位数	2	履修年次	2回生以上
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	5	京カレッジ生定員	
試験・評価方法	平常点 (事前学習の内容・プレゼンテーション・授業でのディスカッション内容) 40%、毎回の授業後のミニレポート20%、最終レポート40%により総合的に評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料			
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【本授業に関する情報】 臨床心理学の領域に関心がある人や、教員として子どもの心の問題やその支援に関心のある人に受講を勧める。</p> <p>【自学自習についての情報】 授業では、事前にテキストを読んでいることを前提にすすめるので、テキストの指定の範囲を読んで、自分なりの意見・疑問点やコメントをまとめておくこと。</p> <p>【アクティブラーニングに関する情報】 事前学習によるプレゼン、質疑応答により進める。またグループでのディスカッションやロールプレイも取り入れる。</p> <p>【注意】 車での来学はご遠慮いただいております。 教室は授業初回日に本学掲示板にて確認してください。</p>		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標	<p>【授業の概要】 心理療法の基本的な理解として、臨床心理学的の現代意義と課題、歴史について理解をし、さらに心理療法の対象として、乳幼児期から老年期までの各発達段階の課題と問題、さらに臨床心理学の人間理解について、理解を深める。 心理療法の具体的内容については、個人へのアプローチから家族・集団・地域社会へのアプローチなど、幅広い支援の方法について取り上げ、その特徴について理解を深める。 心理療法の主要な3つのアプローチ (精神力動・ヒューマニスティック・認知行動) を踏まえつつ、心理療法の広がりとその実践の領域についても理解を深め、心理療法の学び方について、検討を行う。</p> <p>【授業の到達目標】 1. カウンセリングの基礎的な理解として、心理療法の歴史的経緯やその意義について理解することができる。 2. 心理療法の主要な3つのアプローチを踏まえつつ、カウンセリングの実際について、理解することができる。 3. 様々な相談の場面において、心理学的支援のプロセスの実際やその介入について、考えることができるようになる。</p> <p>【授業の形式】 まず、受講者にテキストの内容について事前に読んで、疑問点や重要だと思ったポイントなどについて報告してもらい、その質問に答えるとともに、さらに解説を加え、ディスカッションを通して、授業を進める。</p>		

講義スケジュール	
第1回	オリエンテーション：心理療法と臨床心理学の現状と課題
第2回	1. 臨床心理学とは 2. 臨床心理学小史
第3回	3. 正常と病理の概念
第4回	4. 乳幼児期・児童期 5. 青年期 6. 成人期・老年期
第5回	7. 心理アセスメントとは 心理面接・心理テスト・行動観察
第6回	8. 環境調整・ガイダンス 9. 精神分析
第7回	10. 行動療法 11. クライアント中心療法
第8回	12. 遊戯療法・芸術療法 13. 箱庭療法
第9回	14. 催眠・自律訓練法 15. 森田療法
第10回	16. 内観療法 17. 動作法 18. フォーカシング
第11回	19. ゲシュタルトセラピー 20. イメージセラピー 21. 論理療法
第12回	22. 家族療法 23. グループ・アプローチ 24. コミュニティ・アプローチ
第13回	25. 教育の領域 26. 福祉心理臨床の領域 27. 司法・矯正の領域
第14回	28. 医療の領域 29. 産業の領域 30. 地域社会 (開業心理臨床の実際)
第15回	31. 臨床心理学の教育・研修 32. 臨床心理士・公認心理師への道 まとめ
教科書	「臨床心理学への招待」野島一彦編著 (ミネルヴァ書房)
参考書	「スクールカウンセラーの第一歩」内田利広他 著 (創元社)